| 授業科目名・形態 | 公衆衛生看護学実習Ⅰ（家庭訪問）　実習 | 必修・選択の別 | 選択 | 単位数 | 2 |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目担当者氏名 | 川村泰子　他 | 実務経験の有無 | 有 | 開講期 | 4 年前・後期 |
| 科目ナンバリング | N6-4023pht | | | | |

**【授業の主題】**

公衆衛生看護活動の対象および方法や技術の特性を理解し、公衆衛生看護活動は地域で生活する人々を対象に継続性をもって展開していることを学ぶ。

**【到達目標】**

1. 地域で生活する人々を看護の対象としてとらえ、地域の健康課題を地域特性と関連付けて理解できる
2. 地域で生活する個人・家族を看護の対象としてとらえ、看護過程を通して継続した支援が展開されていることを理解できる。

**【授業計画・内容】**

1. 実習オリエンテーション　　実習の目的や目標、実習内容・進め方、留意事項、事前学習等について
2. 地域診断　　実習する市町村に出向き地区視診を行う
   収集した情報の分析を通して健康課題を抽出する
3. 地域で行われている公衆衛生看護活動に参加見学をする
4. 実習全体を通した学びの共有　グループワーク・プレゼンテーション

**【授業実施方法】**

市町村（大館市・上小阿仁村）で実習する。

**【事前・事後学習】**

実習市町村の地域診断を行う。
健康教育論および公衆衛生看護技術論で学んだ企画書・指導案を見直す。
実習中のカンファレンスおよび終了後の報告会で学びを共有する。

**【主な関連する科目】**

公衆衛生学、疫学、統計学、公衆衛生看護に関連するすべての科目

**【教科書等】**

公衆衛生学、疫学、統計学、公衆衛生看護学に関連するすべての科目の教科書、配布資料等。

**【参考文献】**

国民衛生の動向、秋田県衛生統計年鑑、実習市町村の事業概要およびホームページで公表されている資料

**【成績評価方法】**

4/5 以上の出席者について公衆衛生看護学実習評価表に基づき総合的に評価する。

**【実務経験及び実務を活かした授業内容】**

教員の実務経験を活かしながら実習指導にあたる

**【学生へのメッセージ】**

1. 実習生にふさわしい態度（対人面・学習面）を心がける。実習施設によっては、現地に滞在して実習を行うため、」実習時間以外の行動においても社会人としてのマナーを守る。
2. グループ単位の行動が多いため、メンバーシップを発揮し、主体的に行動する。